

身近な地域の取り組みを探してみましょう！

世田谷区認知症在宅生活サポートセンターのホームページから、区内で行われているアクションチームや認知症カフェ、介護者の会・家族会等の取り組みを地域別にご覧いただけます！

アクションチームってなに？

アクションチームは、地域に暮らすさまざまな立場や年代の人が誰でも参加できる気軽な場です。

区内各地区で少しずつアクションチームの活動が始まっています！

アクションチームの活動に興味のある方、参加したい方は、お住まいの地区のあんしんすこやかセンターへお問い合わせください。



あんしんすこやかセンターを検索する >>>



みんなのアクションを検索する >>>



希望の木を巡る

希望の木とは、認知症の本人をはじめ、さまざまな人が認知症を“自分ごと”として考え、自分のこれからの暮らしや大切にしたいこと、やりたいことなどの「希望」を書き留めた「希望のリーフ」で茂らせた木のことです。



▲まっつー版希望の木は顔ハメパネル式。取材時、校外学習中の児童が訪れ、撮影する姿も。

上野毛あんしんすこやかセンターの希望の木は、玉川小学校マスコットキャラクター「まっつー」がモチーフです。令和5年、玉川小学校でのアクション講座開催時に、上野毛あんしんすこやかセンターが主任児童委員と共に企画し制作しました。

上野毛あんしんすこやかセンター

松をモチーフにした希望のリーフには、アクション講座を受講した児童の思いが綴られています。

認知症になってしまった人には、その人の好きなことをやってもらい、はげましてあげたい。

アクション講座での学びについて、更に自主学习で深めて、校内で発表会も行われたそうです。その発表資料は小学校のバザーや地区会館で展示され、訪れた方が認知症への理解を深める機会となりました。

玉川小学校でのアクション講座は今年も開催され、新たな希望のリーフでさらに茂っていきます。

取材協力：管理者 佐藤さん・根本さん

世田谷区認知症在宅生活サポートセンター

(運営委託法人：医療法人社団プラタナス/桜新町アーバンクリニック)

〒156-0043 東京都世田谷区松原6-37-10
世田谷区立保健医療福祉総合プラザ1F

電話 03-6379-4315

FAX 03-6379-4316

▼ホームページ
<https://setagaya-ninsapo.jp/>

これまでの
にんさぽだよりは
ホームページから
ご覧いただけます



令和7年1月発行

Facebookのフォローも
お待ちしております！



世田谷区

にんさぽだより

第19号

世田谷区認知症在宅生活サポートセンター

特集



感じる 認知症を 知れる

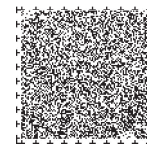
希望条例施行4周年
令和6年度認知症月間イベント



表紙の鶴は認知症体験者のれいこさんが制作しました。れいこさんの思い出の地「世田谷線三軒茶屋駅」で撮影しました。

にんさぽだよりとは？

世田谷区が開設した、世田谷区認知症在宅生活サポートセンターの機関誌です。認知症の人、関わっている方々を応援し、気持ちの支えになればという想いで作っております。



音声コード

認知症を

希望条例施行4周年
令和6年度認知症月間イベント

知る 触れる 感じる

令和6年9月21日(土)、世田谷区立保健医療福祉総合プラザにて令和6年度認知症月間イベント「認知症を知る・触れる・感じる」を開催しました。認知症の最新情報や区の取り組みを知るブース、認知症の本人の活動に触れるブース、認知症の本人が制作した作品を感じるブースなど、さまざまな催しが開かれました。



イベントの様子を、
参加者の声とともに
お伝えします。

知る 認知症講演会

医師による講演会
「認知症とよりよく付き合おう」



講演会での、「認知症への最大の処方箋は“地域づくり”」という言葉に感動。



アクションチームが
たくさんあることに
希望を感じた。

区内各地区のアクション
チームの活動を展示



感じる にんさぼギャラリー 2024

認知症の本人が制作した作品を展示



作品を通して、
認知症になっても、
好きなことを続ける姿に
勇気もらった。



今号の表紙の鶴たちも

触れる ハワイアン喫茶

認知症本人交流会と認知症カフェ
「オレンジカフェせたOHA」の共同企画



認知症の本人によるクイズ大会も
盛り上がりました。

自分も認知症で
仲間と知り合いたくて参加しました。
楽しい時間になり、次回の本人交流会にも
参加したい。

アロハ・オエの合唱は初めて。
ハワイアンの雰囲気も相まって
楽しく認知症の方の
お話が聞けました。



What's 認知症月間??

毎年9月21日は
「認知症の日」
9月は「認知症月間」



令和6年1月に施行された
「共生社会の実現を推進するための
認知症基本法」において定められました。
国民の間に広く認知症についての関心と
理解を深めることを目的としています。

認知症カフェ オレンジカフェ 聴かせて

地域の知人や友人と力を合わせ、認知症とともに生きる人たちがくつろげる場所づくりを目指して令和4年12月にオープンしました。「オレンジカフェ 聴かせて」を開催している勝川さんにお話を伺いました。

Q 認知症カフェを開催するためにどのような準備をされましたか?

地域ボランティアの私たちに認知症カフェが開催できるか不安でした。場所探し、カフェの運営方法習得など、行政の方々、ボランティアの方々に支えていただきました。カフェの名前『聴かせて』には、認知症でもご自分の気持ちや願いを遠慮せず話してくださいとの思いを込めました。腰を据えて取り組むために、「10年計画でぼちぼち楽しくやりましょう」を合言葉にしました。



Q 実際に認知症カフェを開催してみたいかがですか?

運営は自然体です。お花見の希望があれば、緑道に繰り出します。少人数のときは輪になってしんみりと語り合い、大勢のときは自由なおしゃべりで盛り上がります。生活の困りごとは、共有し教え合います。全員で誕生日の歌をうたい、飾ってある季節の花を誕生月の方にプレゼントすることを続けています。うれしいことは、認知症について自然に話せる雰囲気になってきたことです。



Q 皆さんに伝えたいこと

地域に暮らす方々の協力は大きなエネルギーです。認知症に関心のある方、ご近所に住んでいらっしゃる方、そして若い方たちも是非一度足を運んでみてください。ここには認知症の専門職としてあんしんすこやかセンターの職員の方もいらっしゃいます。認知症に関する個別の相談も気軽にできます。月に1回、お茶を飲みながらゆっくりお話をして楽しい時間を共有しませんか?

オレンジカフェ 聴かせて

会場 深沢4-17-1
深沢環境共生住宅1階
デイホーム深沢研修室

連絡先 03-5779-6670
(深沢あんしんすこやかセンター)

日時 月1回 第1木曜日
午前9時45分～11時

参加費 200円

インタビューを担当した 職員のひとこと

明るく温かな空間で、
お互いのことを気かけ合う。
あなたの話を『聴かせて』と、
地域のボランティアの方々が活動している、
居心地の良い場所です。

認知症カフェに行こう!

